

第 24 号 発行 2004 年 12月15日 本郷 ふじやま公園 運営委員会

ふじやま農園の収穫祭

農芸部会 遠 山 隆

澄みきった青空の下、紅葉し始めたクヌギ、 色づいた柿、古民家を望みながら大勢の市民の 方々が参加されて今年も収穫祭が開催されま した。『収穫に感謝し、喜びを分かち合おう、 それも手づくりで!』を合言葉に、石焼き芋、 農園の野菜ふんだんのふじやま鍋、子どもさん たちの収穫体験・輪投げ遊び、収穫物のお楽し み抽選会、ふじやま公園ならではの花の種頒布 等など盛り沢山な内容でした。

土に触れて生き生きとした動き・弾んだ声、 間近で・芝生の斜面で見守るご家族、スタッフ との触れ合いは会場を和やかな空気に満たし ました。



〈会場寸描〉



- ☆ 去年は遅く来て収穫体験が出来ませんでした。この子が今年はどうしてもやってみたいと言うものですから早く来ました。 (参加者リボンを胸に晴れ晴れと喜ぶ子どもと若いお母さん)
- ☆ わーきれいなお芋!これが焼き 芋になっているの?(色鮮やかな さつま芋に見とれる子どもた
- ち)

 ☆ 今年の里芋の出来は見事ですね。
 大きいのが沢山ついていて。掘る
 のが大変です ね!

 里芋は茎が芋になるんでねー。
- ☆ 今日来られないお婆ちゃんにあげたいんですが焼き芋のチケットを 買えますか?
- ☆ 初めて見たわ、上品な珍しい菊〈嵯峨菊〉! いただけてうれしいですわ・・・。 (手に手に菊とお楽しみ品を持って帰路につく人々)
- ☆ 去年いただいた種が見事に咲いたんですよ!今年は何の種をいただこうかしら? 去年と違う種は何ですか? (受付で花の写真を見ながらのご婦人)

この日の情景は、日ごろの活動や準備段階から市民の皆さまとの交流に 深まりを感じていた私どもに、更に来年への夢を膨らませるものでした。 ご協力いただいた関係の皆さまに心から感謝いたします。



桜井小学校 5年生 3クラス 74人がふじやま公園で炭焼きを体験しました。 以下は体験記です。

炭焼きの体験

最初は、炭焼きなんて木を焼けばいいだけと思っていたけれど、ふじやま公園に行って、竹で炭ができることを知りました。しかも竹を切るための道具で実際に切ってみて、すごくスパッと切れて、みんな同じに切れてすごかったです。それから竹をかまに入れて焼くのに何時間も時間がかかるのを知って、炭焼きは大変だということを私は炭焼きをしなかったらたぶんわからなかったと思います。

今回、みんなで作った炭は失敗したと言っていましたが、またそれが勉強になりました。(その炭ももう1度焼いて成功したと聞きました。)

あとお花や虫でも炭ができることを知って、見てみたいなあと思いました。特にお花の炭は焼いたらそのまま炭になるからお花の炭が見てみたいです。

それに最後にボランティアのみなさんがとっても きれいな炭がたくさん入ったふくろをみんなに 配ってくれたので、何に使おうかなと思いまし た。(れいぞうこやトイレのにおいけしにしまし た。)

すみはめだたないところで、すごい役割を果たしていていると思うとなんだか炭がかっこよく見えます。そんな炭作りを体験して、炭をもらって、とってもよかったです。

5年1組 M. T





竹炭作りの大変さ

ぼくは、授業で本郷ふじやま公園に行き、竹炭作りを体験しました。本郷ふじやま公園には3回行きました。炭を焼くには大きく分けて、3つの工程があります。1日目、第1工程では竹を75cmの長さに切りそろえ、割ります。割るときには力を入れてやらないと割れませんでした。次にナタで切り落とし、かまの床下にしき並べました。2日目、かまづめした竹に火をつけて焼く、火入れをする第2工程をしました。ぼくがうちわであおいでいたら、けむりが目やのどに入って少しなみだがでたりむせたりしました。この後のさぎょうもやっていただきました。火を入れてから8時間かけて焼くそうです。3日目、第3工程ではかまだしをして、取り出した炭は適当な長さに切って袋詰めをしてできあがりです。しかし、焼く時間が短くて失敗してしまったそうです。このような細かい事でも失敗するほど炭作りが大変だとは思いませんでした。

竹炭作りの体験をしてみて、炭作りのたいへんさがよくわかりました。そして、 炭作りの仕事をしている人がすごいと思いました。 5年1組 S. M



体驗數室』桜井小学校 5年生

実施日 窯詰め

11月16日 11月18日 11月24日

火入れ 11 窯出し 1

炭焼き見学をして

ぼくは、ふじやま公園で炭焼き見学をして、炭の作り方が よくわかりました。

ぼくは、第一工程で竹を切ったのが楽しかったです。

宗森さんの説明がわかりやすかったので、炭の作り方をよく理解できました。炭を作るには第一工程から第三工程まであり、その工程を見学してみて炭を作るのは大変だということがよくわかりました。

楽しかったので、今度もまたお手伝いをしたいです。

5年2組 J. K





炭作り感想

始め、先生が「つくろう。」と言ったときは、簡単だと思っていたけど、やってみるとむずかしくて、力がいり、時間がかかるので大変だなと苦労を知った気がします。こうしてやっている人のやりがい、苦労を知りながら自分が成長していくんだ。と私は思います。

家に帰ってお母さんに言ったら「いいわね。」とうらやましがっていました。したことがないらしいのです。いい経験をしたなと思います。

五年生と宗森さん達と力を合わせて炭を作ったけれど、結果は失敗でした。でも、これはこれでいいんだよと私は思います。それにあれは、みんなの気持ちがこもった炭だと思います。

5年3組 Y. T

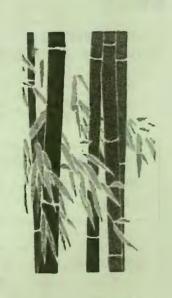
炭作り感想

ぼくは、炭作りで学んだことは、カブトムシやセミで炭ができる んだということや竹を焼くと竹が三分の一になってしまうことで す。

でも虫を炭にした後、中はどうなっているか疑問に思いました。 竹を割る体験をしたとき、手を切るかと思ってこわかったです。 竹一つで二十キロほどあると聞いたのでびっくりしました。

竹を作るときに、竹炭だと竹を切って、節をとったりするのは大 変だと思います。

火をおこすときにのどが焼けるようでした。目も痛くて、目をつぶりながら息もできなかったので、とてもつらかったです。でも、また炭作りをやりたいです。 5年3組 T. K



催物

奮ってご参加ください

| 書うして多かくたさい | | | | |
|--------------------------|---------------------------------------|---------------------|--|------------|
| 教室名 | 日時 | 内容 | 定員 | 材料費 |
| 作って遊ぼう (子ども工作の日) | 1月23日(日) 10時~15時 | クラフトブレスレット | 自由 参加 | 無料(申し込み不要) |
| 粘土工芸 (全2回) | 2月11日、18日 各金曜日13時~16時 | 樹脂粘土で作る お雛さま | 12名 | ¥ 2,000 |
| 炭焼き体験 (全3回) | 2月12日(土) 9時~15時 | 竹の切り出し、運搬 加工、窯詰め | 10名 | 無料 |
| | 2月13日(日) 8時~17時 | 火入れ、炭焼き | THE STATE OF THE S | |
| | 2月19日(土) 9時~12時 | 窯出し、袋詰め | 不 | |
| 伝統工芸「鎌倉彫」 彫る (全3回) | 2月13日,2月27日,3 月13日 各日曜日 13時~16時 | 直径21cmの丸平 皿を彫る | 12名 | ¥2,500 |
| 染色 (全2回) | 2月15日 3月15日 各火曜日 13時~16時 | 草木染め | 12名 | ¥4,000 |
| 布細工 (全2回) | 2月16日、3月16日 各水曜日13時~16時 | お雛さま、花袋 | 12名 | ¥1,300 |
| 第10回 茶道体験 | 2月19日(土) 13時30分~16時 | 茶道体験 | 12名 | ¥600 |
| 刺し子 (全2回) | 2月23日、3月23日 各水曜日 13時~16時 | テーブルセンター 小物敷き | 12名 | ¥1,800 |

(1) 定員 : 応募者多数時抽選 ※「炭焼き体験」は3回とも参加できる人に限ります。

(2) 応募要領 : 往復ハガキに、教室名、氏名 (ふりがな)、〒、住所、電話番号を書いて 平成 17 年 1 月 31 日までに本郷ふじやま公園へ

お知らせ

・年末年始休館日 : 12月29日(水)~1月4日(火) 平成17年1月5日から開園いたします。

・クリーンアップ作業日・時 : 1月18日(火) 10時~11時

古民家ゾーン ご利用案内

◎開館時間 :9:00~17:00

◎休館日:毎月第1水曜日(祝日の場合はその翌日)

◎入館料:無料

◆ 本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 Tel:896-0590 Fax:896-0593

◆ 緑政局中部公園緑地事務所 Tel:711-7802 Fax:712-6260

投稿のお願い 広く皆様からの「ふじやまだより」への投稿をお待ちしております。俳句でも川柳でも、「ふじやま古民家」に関する気になるトピックスでも、「ふじやまだより」に対するご意見、ご感想でも。「ふじやまだより」が、より皆様の身近なものになりますようにご協力下さい。 **広報部会長**